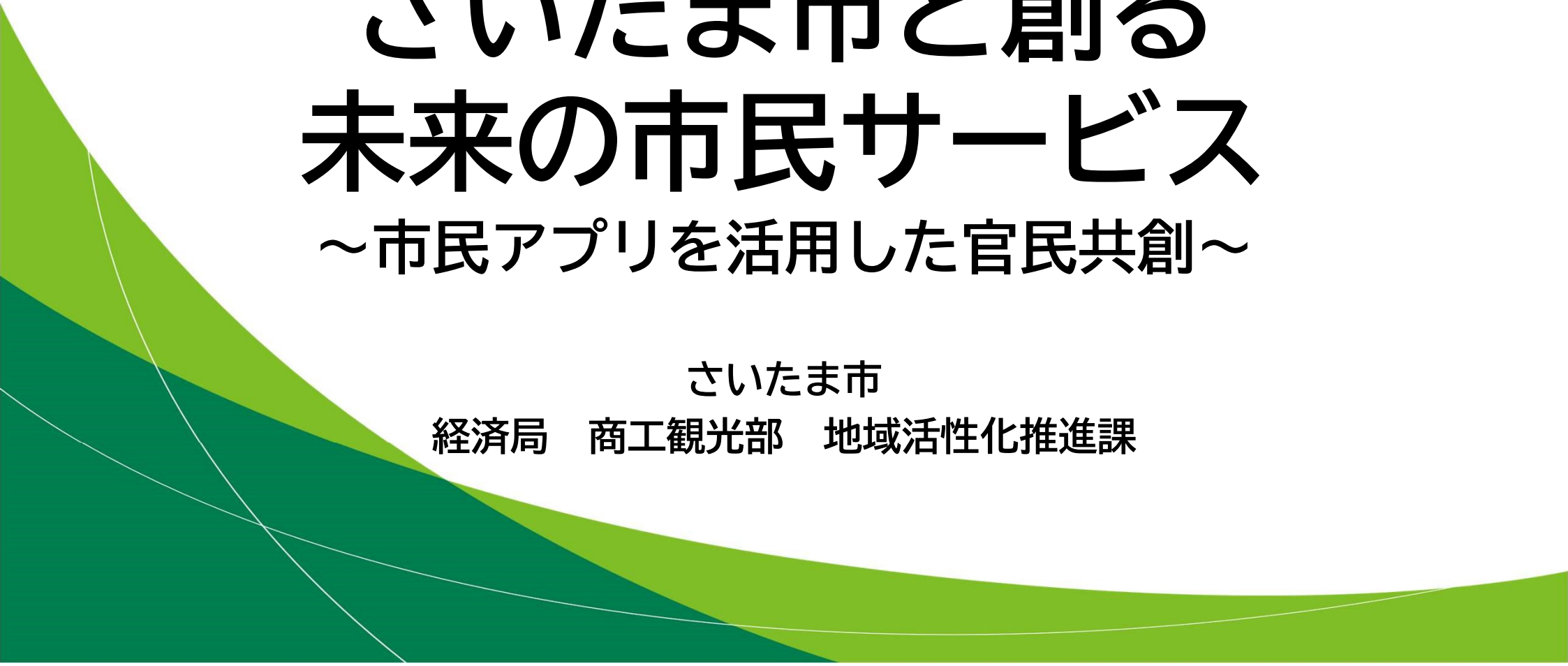




さいたま市と創る 未来の市民サービス

～市民アプリを活用した官民共創～

さいたま市

経済局 商工観光部 地域活性化推進課

◆ さいたま市の概要

2



東日本の玄関口
6路線の新幹線が停車



都市と自然の融合



市内に拠点を持つプロの
スポーツクラブが多数存在



市内に大学が10校立地

成り立ち

- ① 平成13年5月1日に浦和市・大宮市・与野市の合併で誕生
- ② 平成15年4月1日に全国で13番目の政令指定都市に移行
- ③ 平成17年4月1日に岩槻市と合併

主なスポット

GM0アリーナさいたま
(さいたまスーパーアリーナ)



埼玉スタジアム2002



鉄道博物館



見沼田んぼの桜回廊

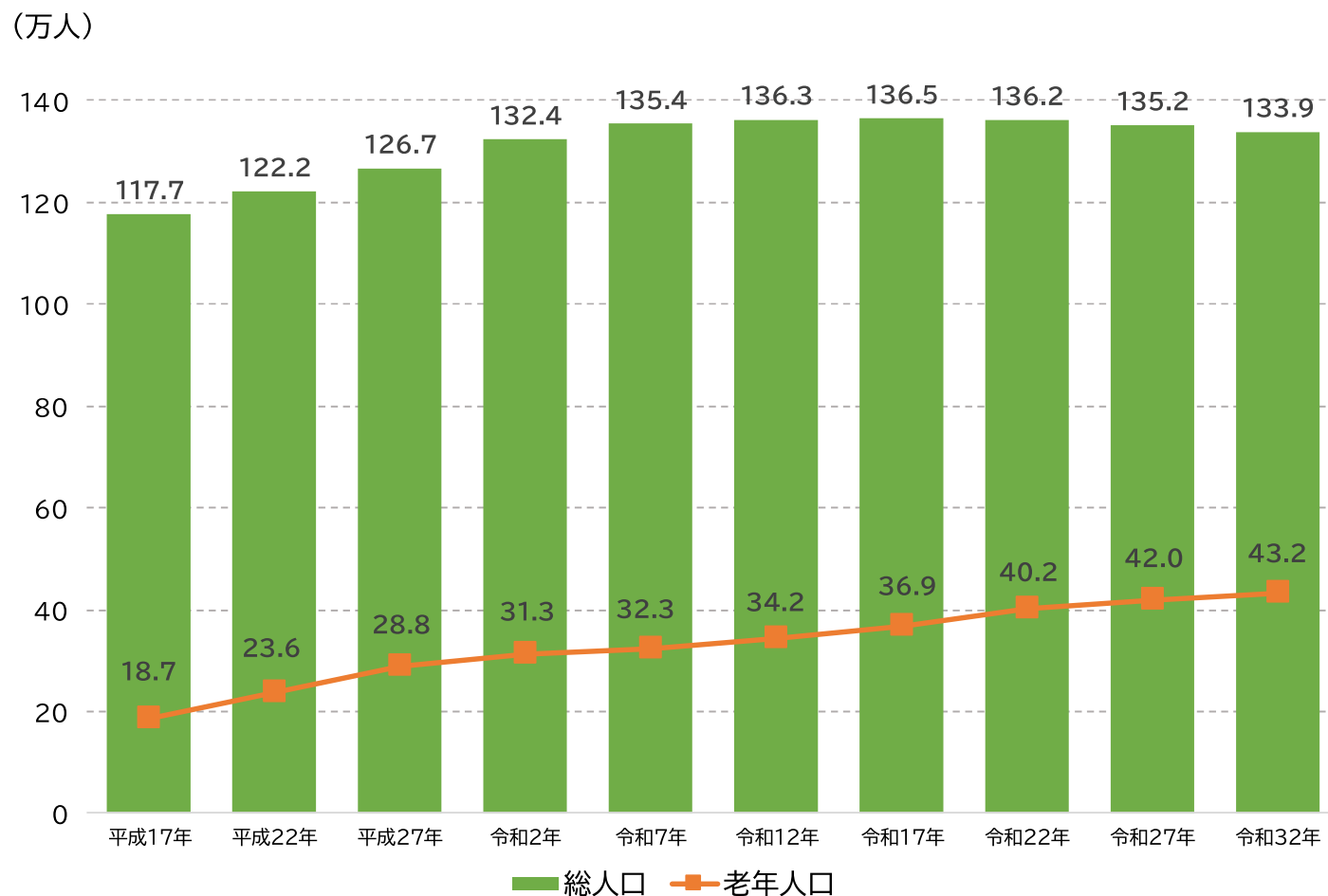


総人口・老年人口推移（平成17年以降）

総人口は**令和17年まで増加**
するものの、その後は減少傾向

老年人口の割合はすでに23%を超え、
超高齢社会に突入

年齢区分別でみると、15歳未満の
転入超過数**735人**※（令和7年）
※政令指定都市の中で最多



まちづくりにおける課題



- 超高齢社会、生産年齢人口減少、いずれ訪れる人口減少局面による経済規模の縮小が危惧される。
- 持続可能なまちづくりの推進が求められている。

まちづくりの方向性



- 市民生活を構成する様々な分野において、AIやIoTなどの技術を活用した生活支援サービス等の実証・社会実装に取り組む。
- 生活支援サービスの構築やコミュニティ形成につながる取り組みを実施するスマートシティさいたまモデルを推進している。

対象地区



- 美園地区（埼玉高速鉄道・浦和美園駅周辺地区）

1

美園地区で モデル実証



- ✓ 「副都心」の位置づけがある美園地区をモデル地区に設定
- ✓ 市が目指す理想都市の縮図として、様々な実証を展開

2

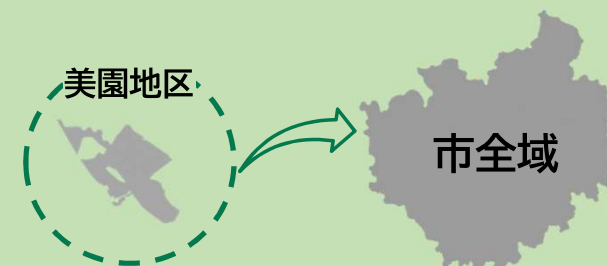
生活支援サービス提供 とコミュニティ形成の 実現



- ✓ 様々な社会課題解決のため、**AIやIoT、データを活用**した生活支援サービスを提供
- ✓ 人と人とのつながりを創出

3

将来的には さいたま市全域へ展開



- ✓ スマートシティさいたまモデルの事業を市全域に展開
- ✓ 市民全員の生活の質向上を図る
- ✓ 上質な生活都市、東日本の中枢都市を目指す

スマートシティさいたまモデル

スマートシティさいたま

◆ 美園地区について

7



美園地区には公民学
の連携基盤があり、
具体的な実証実績が
多数ある



例) AI KOSODATE-Peer(コソダテ・ピア)

◆「さいたま市みんなのアプリ」について

8

市民アプリ「さいたま市みんなのアプリ」（令和6年7月31日サービス提供開始）

さいたまのデジタル地域通貨

市内の加盟店でお買い物！

1ポイント
=1円相当

さいコイン
が使える!!



さいたま市内の
加盟店で使える
電子マネーです

さいコインのチャージには
マイナンバーカード認証が必要です

たまポン
がもらえる!!



「さいコイン」のチャージや
キャンペーンでもらえる
ポイントです

一部店舗を除く加盟店で利用可能です

アプリ
ダウンロード

登録/認証

チャージ

加盟店で
使える



さいたま市
みんなのアプリ

市内の方はもちろん、
市外の方も使える！



さいたまの暮らしをスマートに

行政・民間の便利でお得な機能がいっぱい！



図書館利用者カード

スマホひとつで本が借りられます



健康マイレージ

さいたま市の「健康マイレージ」と連携！



お知らせ機能

行政やお店からの最新情報が届く！

防災アプリやゴミ出しカレンダーも
アプリ1つで！

詳しくは ▶▶▶

さいたま市みんなのアプリ



◆統合型の市民アプリ

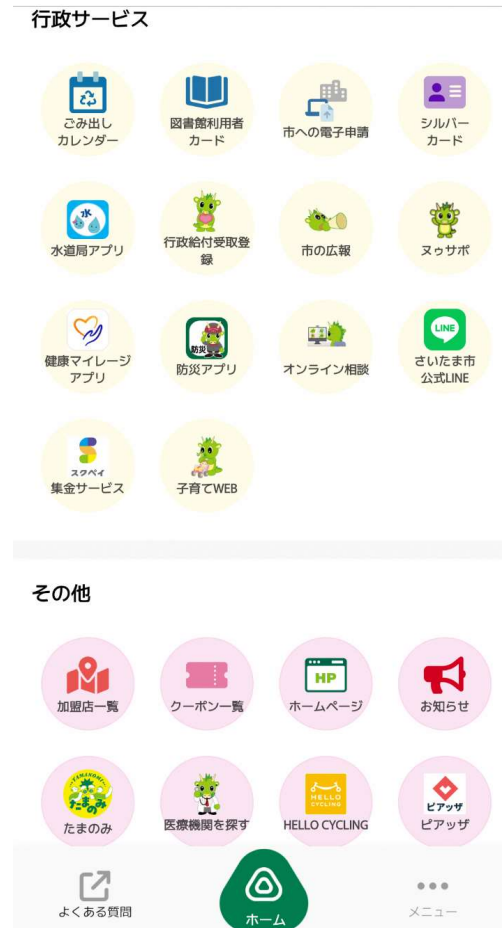
9



①デジタル地域通貨エリア

②ミニアプリエリア

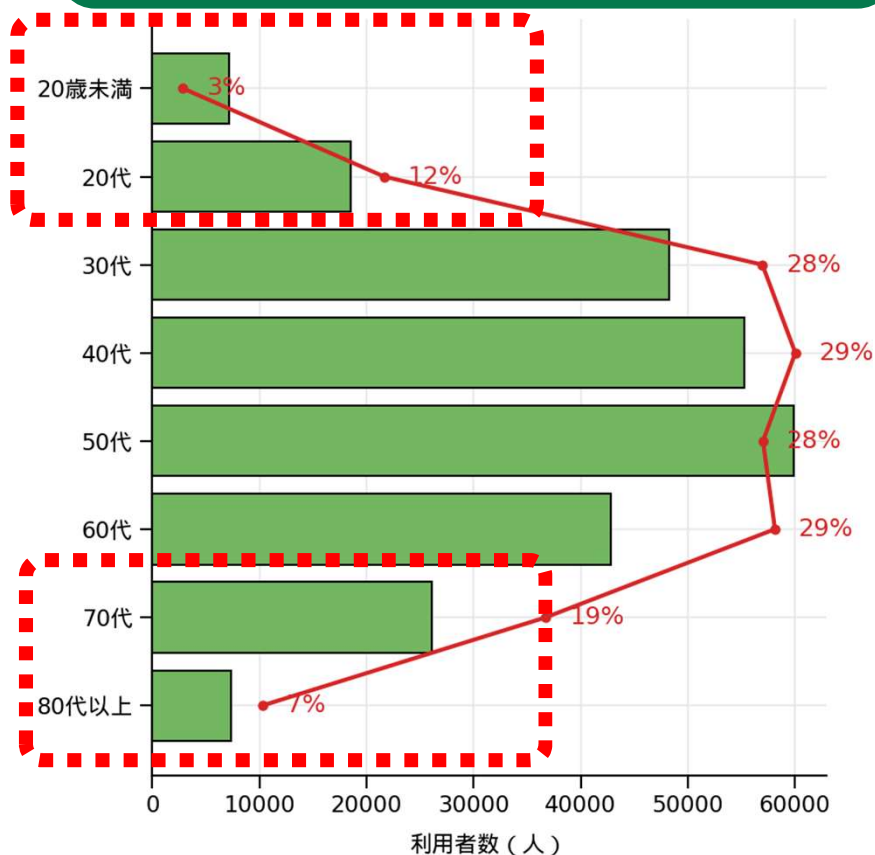
③お知らせエリア



デジタル地域通貨機能以外にも、
「ミニアプリ」として
毎日の暮らしを便利にする
サービス・機能を搭載

サービス開始から**2年**でアプリ利用者 **392,128** 人（令和8年7月31日時点）

年代/利用率（人口比）



特定の世代への偏り
（幅広い世代の市民に活用してもらいたい）

幅広い世代※の市民に対する、 デジタル技術を活用した生活支援サービス

※特に、アプリ利用率の低い世代（若年層及び高齢者層）

地域課題解決

- ・高齢者見守りサービス
- ・防災/避難情報
- ・買い物/移動支援 等

住民生活の質向上

- ・健康管理/フレイル予防
- ・子育て支援
- ・行政手続のデジタル化 等

コミュニティ形成

- ・地域イベント情報
- ・地域活動団体のマッチング
- ・高齢者/子育て世代交流 等

留意点

「さいたま市みんなのアプリ」と連携した企画であること





実証フィールド（＝「美園地区」）の提供



「美園地区」における関係者との調整



「さいたま市みんなのアプリ」との連携
（運営事業者（株式会社つなぐ）との連携支援等）

スマートシティさいたまモデルとしての取組

- 公民学の連携基盤があり、多数の実証実績がある美園地区において「スマートシティさいたまモデル」を推進
- 地域課題解決のため、市民アプリ「さいたま市みんなのアプリ」を導入

ご提案いただきたいこと

幅広い世代※の市民に対する、デジタル技術を活用した生活支援サービス※特に、アプリ利用率の低い世代（若年層及び高齢者層）

さいたま市が協力できること

実証フィールドの提供



関係者との調整



みんなのアプリとの連携支援

